

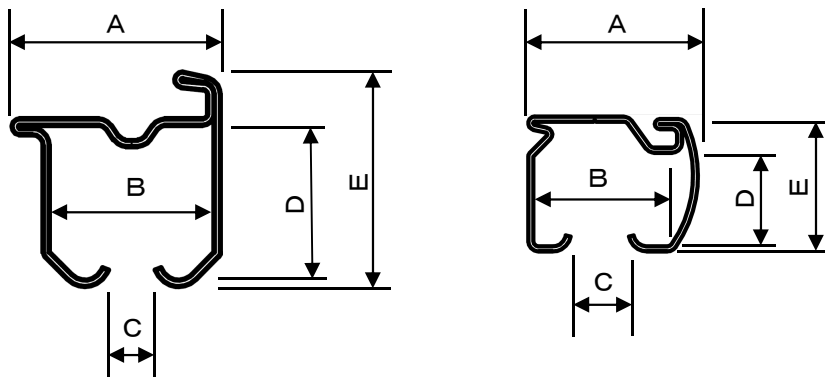
1. 対象部材

カーテンレール

略称：CjK カーテンレール

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



カーテンレール ①

カーテンレール ②

図1－標準(共通)化の部位

- A：レール外寸（幅方向）
- B：レール内寸（幅方向）
- C：レール溝部幅
- D：レール内寸（高さ方向）
- E：レール外寸（高さ方向）

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法	
	①	②
A：レール外寸（幅方向）	20.0	20.4
B：レール内寸（幅方向）	15.8	16.6
C：レール溝部幅	4.5	7.0
D：レール内寸（高さ方向）	14.6	11.2
E：レール外寸（高さ方向）	20.2	16.1

①：CjK基準書”065カーテンレール用ランナー”及び”066カーテンレール用キャップストップ”の①に対応

②：CjK基準書”065カーテンレール用ランナー”及び”066カーテンレール用キャップストップ”の②に対応

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 対象範囲

カーテンレールの長さ及び厚みについては問わない。

5.2 関連部材の具備すべき条件

- ・使用するカーテンレールのランナー及びキャップストップは、“CjK部材基準書” “065カーテンレール用ランナー”及び“066カーテンレール用キャップストップ”の使用を前提とする。
- ・既存のカーテンレールブラケットを用いた交換ができない場合はカーテンレールブラケットもセット交換とする。
(セット交換するカーテンレールブラケットは既存のカーテンボックス等におさまるものとする。)

6. 解説

既に標準化されているカーテンレール用ランナー及びカーテンレール用キャップストップに対応するカーテンレールとして基準値を設定した。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。